キャラクター名: アオイオルタ

プレイヤー名:

種族	エルフ	種族特徴	暗視、剣の加護/優しき水		
生まれ	神官	性別		年齢	
冒険者Lv	17	経歴			
経験点	-297000				

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	9	器用度	4	1		14	2
		敏捷度	12	18		39	6
体	5	筋力	2	12		19	3
		生命力	6	21		32 + 6	6
心	12	知力	9	33		54	9
		精神力	8	25		45 + 6	8

技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	7	レンジャー	3
グラップラー	3	セージ	13
ソーサラー	8	エンハンサー	5
コンジャラー	17		
プリースト/キルヒア	15		
スカウト	7		

技能

	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	7	9	13	10
グラップラー	3	5	9	6
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	マナコートプラス		1		9
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	ファイター	合計値		13	11

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
メイガス				2d+ 0		0											
				2d+													
				2d+													

一般装備品 (消耗チェック)

○□□○□□
○□□○□□
○□□○□□
○□□○□□
○□□○□□
○□□○□□
○□□○□□

所持金 -207050 G

預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	39 m	117 m

回避	防護点
2d+ 13	11

HP
104

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 22	2d+ 13

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 23	2d+ 26

MP
171

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	8	17			
操霊魔法	17	26			
深智魔法	8	26			
神聖魔法	15	24			

戦闘特技

タフネス	2122p	ターゲッティング	1-280p
追加攻撃	220 p	武器習熟A/スタッフ	1-281p
投げ攻撃	225 p	鷹の目	1-280p
ルーンマスター	IB34 p	ダブルキャスト	2-234p
トレジャーハント	2120p	武器習熟S/スタッフ	1-281p
ファストアクション	2123p	魔法拡大/すべて	1-290p
鋭い目	2120p	武器の達人	3-212p
弱点看破	2121p	MP軽減/プリースト	1-283p
マナセーブ	2123p	MP軽減/コンジャラー	1-283p
マナ耐性	3144p		p
魔法拡大/数	1-289p		p

言語	会話	読文
エルフ語	○	○
交易共通語	○	○
魔法文明語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術

ガゼルフット	
ビートルスキン	
ストロングブラッド	
メディテーション	
スフィンクスノレッジ	

名誉アイテム	点数

名誉点 所持 0 /合計 0

	装備品	説明
頭	ラル=ヴェイネのディスプレッサーガジェット	その他枠+1
耳	ラル=ヴェイネの金鎖	その他枠+1
顔	スマルティエのディスプレッサーガジェット	その他枠+1
首	スマルティエの銀鈴	その他枠+1
背中	スマルティエの狩伏のセービングマント	要名誉20点+レンジャー技能3 回避や抵抗失敗時魔法ダメージ-4 背中装備追加
右手	スマルティエの正しき信念のリング	精神抵抗力+2
腰	スマルティエの多機能真・ブラックベルト	要名誉20点+グラップラー技能3 防護点+2 腰枠追加
足	スマルティエのディスプレッサーガジェット	その他枠+1
その他	能力増強の腕輪	お好みで

	装備品	説明
	スマルティエの聖王の冠（その他）	回復判定の時1ゾロでも魔力点分回復
	スマルティエの聖印（その他）	魔法の発動体
	ラル=ヴェイネの観察鏡（その他）	魔物知識判定の弱点値-4
	ラル=ヴェイネの奇跡の首飾り（その他）	生死判定振りなおしができる
	ラル=ヴェイネの肩掛け	指定した属性ダメージ-1
左手	ラル=ヴェイネのマナリング	魔法ダメージ+2　魔法の発動体
	ラル=ヴェイネの不撓バックル	銃の攻撃を回避の代わりに精神抵抗で判定し半減できる
	ラル=ヴェイネの親衛のブーツ（その他）	転倒しなくなる

その他メモ

一期ラスボス。約20年前に魔神王（レベル30くらい）と戦い死亡。数多の英雄と自分の命を引き換えに魔神王の核であるフォルトナコードを分離し封印、一部を自分の魂と混ぜ合わせ悪用されないようにしていた。後に妹の死を受け入れられなかった姉により転生させられた。しかしフォルトナコードの力は幼い身体には耐えられるものではなかった。このままでは近いうちに再度姉を悲しませることになると考えたあおいは、魂の一部を切り分け身体に残し、残りは身体が成長しきるまでフォルトナコードを監視することにした。実は一期の時点で魂だけで存在できる限界を迎えつつあり、急いでアオイを成長させるために様々な試練を用意していた。最終的には自分が悪になることで、事の発端になった姉を庇い、成長したアオイにフォルトナコードをたくし消滅するつもりだった。

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟